

台灣日本語文學報

40

【論文】

- 張 宜樺 村上春樹の「UFOが釧路に降りる」論
—「意識」が「身体」に追い付くまで— 1
- 戸田 一康 『幽霊』における「病氣」の意味
—『病氣についての童話』との関連性— 27
- 段 裕行 東北砕石工場技師時代の宮沢賢治と商業的農業
—元岩手県農会技手・川原仁左工門の証言をめぐる— 53
- 曾 秋桂 職業作家の視点から見た「二人の国民作家」漱石と村上春樹 77
- 佐藤 敬子 辻仁成『母なる風と父なる時化』論
—「セキジ」による家庭崩壊の萌芽— 105
- 呉 秦芳 日本語母語者話者に見られる『だろろう』の事例調査
— CSJ (Corpus of Spontaneous Japanese) の「自由対談」をもとに— 131
- 江 雯薰 物語の構造から見た時間副詞について
—「このころ」「そのころ」「あのころ」を中心に— 159
- 洪 心怡 台湾の日本語学習者による促音・長音の発話時間制御 183
- 林 慧君 日本語の類義接頭辞における意味用法の比較
—〈正〉と相反する接頭辞を中心に— 213
- 頼 錦雀 『やがて哀しき外国語』における異文化観
—日本語教育への示唆— 235
- 陳 姿菁 自己評価を用いた会話活動の可能性
—第二外国語としての日本語授業を例に— 257
- 林 明煌 ストラテジー訓練を通じた台湾の大学日本語学習者の
学習ストラテジーに関する縦断的变化
—日本語専攻と非日本語専攻との比較— 279
- 黄 英哲 ビジネス日本語能力テストの分析と
台湾人日本語学習者の受け止め方 307

【研究報告】

- 許 均瑞 「ニュースの日本語」におけるプロジェクト学習
—「身につく力」を目指す「まわしよみ新聞」作り— 335
- 羅 曉勤 ピア活動による論証スキル形成から見た「レポートライティング」
—台湾中級日本語作文授業への導入の可能性について— 361

【活動彙報】

- 2016年7月～12月例会要旨および活動報告 389